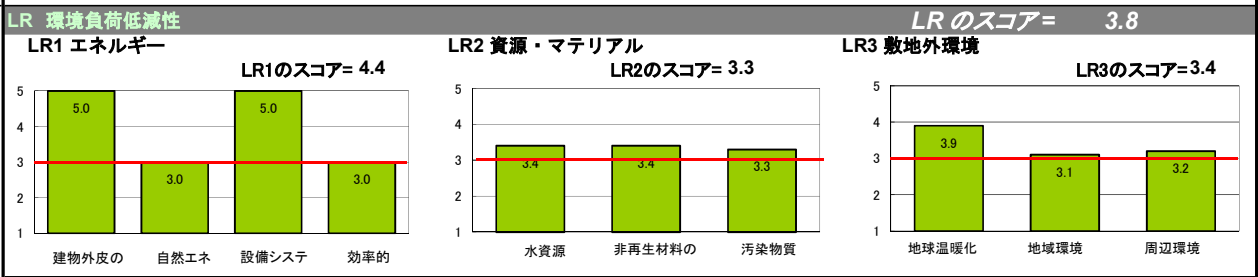
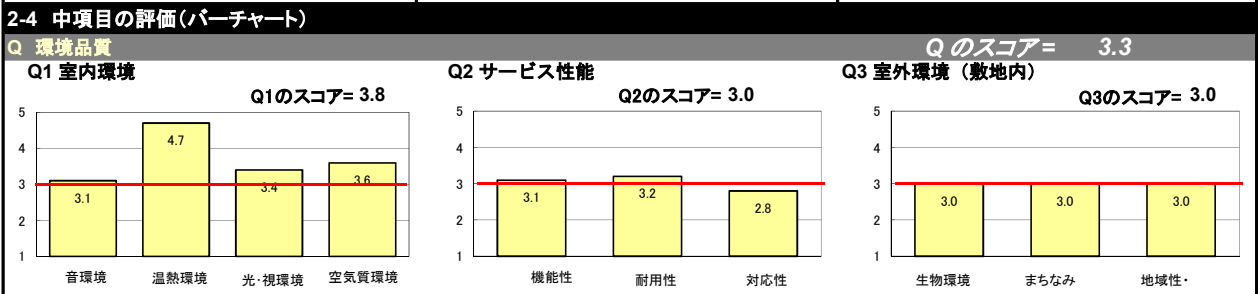
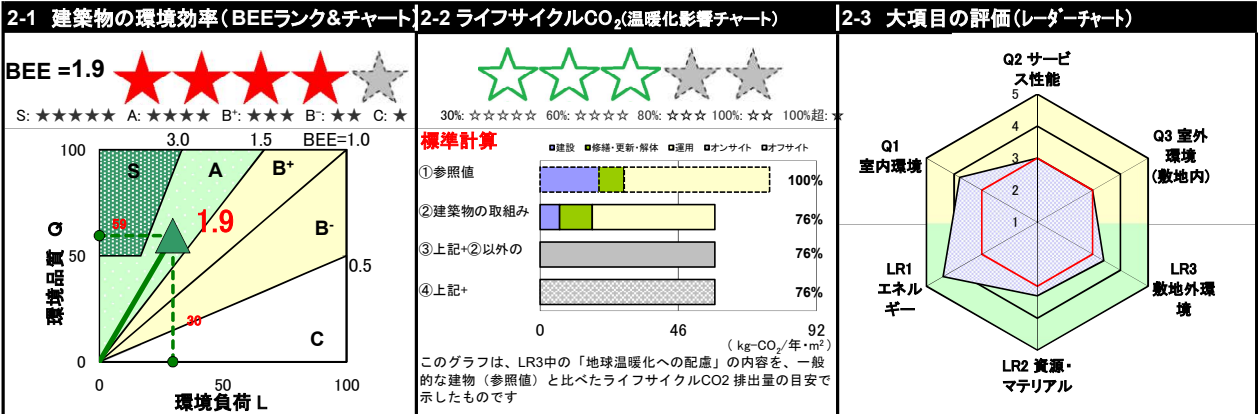
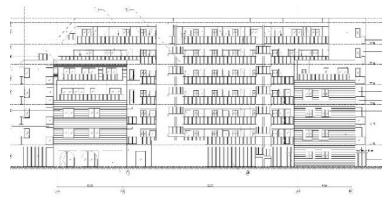


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 相模原市緑区橋本2丁目計画Ⅲ	階数	地上7F
建設地	神奈川県相模原市緑区 橋本二丁目351番2,3(地名地番)	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	276 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年6月16日
敷地面積	2,922 m ²	作成者	株式会社 現代総合設計
建築面積	1,263 m ²	確認日	2023年6月16日
延床面積	6,179 m ²	確認者	株式会社 現代総合設計



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える断熱性能を満たし、光・視環境や空気質環境等室内環境の向上に努めた。適切なブロードバンド環境を整備し、仕上げ材や設備配管の仕様を通じて維持管理や更新間隔にも配慮している。プロムナードや敷地境界線際の植栽など、良好な敷地環境を実現している。</p>		<p>その他</p> <p>特になし</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>開口部遮音性能はT-2以上として、室内騒音レベルを下げる設計とした。光・視環境に配慮し、カーテンおよび庇により昼光制御を行っている。建築基準法規制対象外建材をほぼ全面的に使用し、空気質環境の向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>高速なブロードバンドの利用可能環境を整備し、機能性・使いやすさの向上を図っている。住宅の品質確保の促進に関する法律の劣化対策等級3を実現し、躯体材量の耐用年数を延長させた。機器・配管の支持方法は耐震クラスAを取得している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外構緑化指数が50%以上となる規模の外構緑化を行っている。プロムナードや植栽により建物利用者が自然に親しめるように配慮し、良好な景観の形成に努めた。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建物外皮の熱負荷制御に配慮し、日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える断熱性能を満たす設計とした。LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>水資源の保護に配慮し、節水コマおよび節水型便器等を選択している。非再生性資源の使用量削減の為、グリーン調達品目やエコマーク商品を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>地球温暖化へ配慮し、LCCO2の排出抑制に努めた。地域インフラへの負荷制御の為、適切な量の駐輪場および駐車場を確保し利便性にも配慮した。また、公害抑制の為に「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たし、広告物照明は行っていない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される